

「どこでも市長室」でいただいた意見等

日 時	令和 3 年 4 月 11 日（日）10:00～11:30		
会 場	鎌庭新宿公民館	申込団体名	鎌庭新宿自治会
参加者の意見 (1/1)	●筑西市からの高速路線バスに期待している。 ●市内商業施設で入居するテナントが次々と無くなり、撤退の噂すらある。関係者の話では単なる噂で、そんな予定はないとのことでしたが、市としても存続に向けて尽力してほしい。 ●工業団地の造成もあり、国道 294 号の交通や流通面での重要性が向上すると思われる。さらなる拡張や高規格道路化により、魅力を上げてほしい。 ●下妻市公式 LINE が便利。定時の情報提供のほか、迅速に災害情報や市ホームページにアクセスできることが魅力です。		

参加者の意見
(2/3)

- 高齢者のドライバーのニュースを見て、私も年をとった時に、車の免許を返納することになってしまったら、お買い物に行くのにも、何で行ったらいいのかなという、先ゆく不安も少しあります。住んでいるところが郊外で、バス等の交通機関が何もないので、そういうものが充実していれば、免許の返納もしやすいと思っています。
- 常総線を利用すると、水海道止まりの列車が多くて、東京から帰って来ると、下妻まで来る列車が少なくなってしまうのです。せめて、下妻まで来てもらえるとありがたいです。常総線を使う人が多く、快速が増えると、東京への通勤圏が下妻まで広がると思います。
- 民間の保育園は、月曜日から土曜日までで、月曜日は朝の7時半から19時まで保育しています。それで、土曜日の保育の要望もあり、7時半から18時半までで、希望者は1人～2人の状態ですが、保育を行っています。公立保育園は12時半で終わってしまうのです。市役所のホームページでは、入園希望の案内で、土曜日の18時半まで預けたいという人がいても、市はやらずに、最初から足切りになっているようです。本当は、市が先駆的に、長時間保育に向き合わなければならないのに、結局、民間へと言われるのです。そういう変則的な保育については、公立保育園で先駆けて行ってもらいたいと思っています。
- 国で考えていることと、現場でやっていることが違うのです。標準教育といったら、11時間なのですが、我々の労働時間は8時間です。そうすると、11時間では、8時～17時の職員では対応できません。現実的に、例えば、7時半から16時半の労働時間と、10時から19時までの労働時間になります。そうすると、それを正職員でやっていたら、財政的に追いつかないです。それで、非正規職員を使うという国の発想が、我々は、おかしいと言っています。貴重な、大切な時間でやってくれる人を継ぎ接ぎしていかなければ、11時間保育というのはできないのです。だから、我々は、子育て支援課に保育士さんの給料が低いと伝えて、処遇改善というのが出るようになったのです。それを出すためには、研修に行ってきたと。そうすると、職員の処遇を改善するのに、何でこんなに細かい書類を作らなくてはならないのか、というくらいの、面倒くさい書類の提出を求められます。1回出して戻ってきました、もう1回ここを直してくれ、また出しました、県に出したら、また戻ってきました。そこまでやらないと、保育士さんの処遇改善ができないのかという、現実の話です。他の市町村でも、だんだん保育士が不足してきて、基本は処遇の改善が必要で、それをいかにするのは、市町村の補助というのをお願いできればと思います。

参加者の意見 (3/3)	●一番大切なのは、保育の充実だと思うのです。保育園の経営状態を見て、補助等を配慮してくれるのを、少しでもやってもらおうと張り合いが出ます。一生懸命みんな頑張ってくれているので、それで報われると良いかなと思います。なんとか、職員を正職員で雇えるという形にしているので、そういう状況を市長さんに分かってもらえれば、市内でもこういう保育園もあるというのがあって、そういうところで配慮をいただければ、さらに嬉しいなと思うのです。 ●来年度のことで、子育て支援課から、二次募集できた3歳児を1名入れてくれと言われました。その子を入れると、子どもと先生の比率が15対1で国から加配が来るのですが、産休に入る職員がいるので、そうすると、1名多く職員を取る必要があります。子どもの数・補助率の人数の他にプラス1名で代替えをやっていきますので、来年は代替えの先生もいるのですが、職員がいないと、子どもも取れないという状況です。本当に、保育士になりたいという先生がいっぱい増えてもらいたいです。 ●例えばここに、1,000万円の資金があつて、10名の正職員でやっていけば、正職員の先生の給料が高くなります。1,000万円を15名にして、5名はパートさんにすると、一人あたりの給料は少なくなるけれども、逆に働きやすい環境ができます。子どもの受け持ち人数を少なくする、休暇が取れる。働きやすい環境は、給料だけではないけれども、逆に言えば、そういう環境を作るのには、資金も必要だということです。だから、その辺のやり繰りというのは、いかにそれを有効に、お金を使って回していくかということだと思います。
-------------------------	--

市民協働課 扱